

2024(令和6)年は西区制80周年

知ってる?

西区のむかし

西区文化協会は1981(昭和56)年の創立。創作・芸能・茶道部門に分かれて活動しており、誰でも加入できます。「にしぶんか」は創立から5年後に発刊されました。西区に密着した文化と歴史、地域に隠された趣あるエピソードを交えて、温故知新を語り継ぐ広報誌です。地域振興課(区役所4階48番窓口)でお渡ししています。



2024(令和6)年に西区は80周年を迎えます。これを記念して、西区文化協会が発行している広報誌「にしぶんか」から、これまでの西区の歴史をひも解いていきます。ぜひ西区のむかしに思いをはせてみてください。

第4回

かもん やま 掃部山の銅像

にしぶんか No.32 から

「泰平の眠りを覚ます じょうきせん 上喜撰 しはい たつた四杯で 夜も眠れず」
幕末、ペリー提督が黒船四隻を率いて江戸湾に来航した時の世相を詠んだ戯れ歌です。上喜撰は宇治の高級茶で、蒸気船に引っ掛けています。歌の意味は、「泰平の世の中にたつた四隻の黒船が来たことで(たつた四杯の高級茶のカフェインで)夜も眠れなくなってしまったことよ」といったものです。

海岸には異国の巨船見たさに野次馬が押し寄せ、幕府は開港を迫るアメリカの圧力に右往左往しました。時の大老井伊直弼は、朝廷の許可(勅許)を得ずに独断で開港したと、尊皇派の怒りを買ってしまいます。そして「桜田門外の変」で倒れます。横浜にとっては直弼の「勇断」によって、寒漁村から大都市への未来が開けたと言うことができます。直弼の銅像は掃部山公園から海を見下ろしています。



問 西区文化協会事務局(地域振興課内) Tel 320-8392 fax 322-5063